

稲づくりについて

<p>提案内容</p>	<p>昨秋の米価下落はこれからの稲作に将来が描けなく逡巡していた齢80路の頭に強打を与えました。</p> <p>2～3日前に農業所得申告に出るため収支の計算をしました。80路に入り春秋作業（含苗）を法人の方に依頼しています。米づくりに限って申し上げますと全収穫米代から法人作業代を差引き5万2千円の黒字でした。草刈代を金銭換算して入れれば0ないしマイナスです。</p> <p>これでは稲作意欲はわくはずもありません。一般家庭のコメの購入額がパンを下回って久しい、そこへコロナの居座り。私もここまで「趣味で」と云いながら植木等が歌った「だまって俺について来い！そのうちなんとかなるだろう」と云う気持でいたが、もうなんとかもならない齢82才にもなってしまった。</p> <p>いま周囲の米づくりのことについて漏れ聞くとところによると高齢、後継者不在、そして追い討ちをかけた米価下落。米作り撤退…</p> <p>この調子だと今年は効率の悪い田園から効率の良い田園へ荒廃が進むことがはっきりしてきた。</p> <p>もう周囲には耕作の請手はいない。そこで提案したい。荒さないためにも太陽光発電（小さなエネルギーで地域強靱化）の農地への取り入れである。太陽光パネルの下で作物を育てる（その力は今はない）ソーラーシェアリングではないパネルの設置。</p> <p>農地法他いろいろ障害法律があると思うが、どうかしんげんに市は検討してほしい。集落は悲鳴をあげています。</p>
<p>回 答</p>	<p>ご提案いただきありがとうございます。</p> <p><農政課></p> <p>市では、市内農地の大半を占める水田においては、集落営農組織の集团的営農方式などによる耕作や中山間地域等直接支払制度など、特に営農継続に向けた様々な支援を展開しており、農家の皆様には支援策も活用して可能な限り営農継続に努めて頂きたいと考えています。</p> <p>こうした中、耕作放棄対策も兼ねての太陽光発電パネルの設置に関するご要望に関しましては、農地法や農業振興地域の整備に関する法律等の国が定める規定により、設置出来る農地が限定されているため、ご希望の農地に必ずしも設置できない場合があります。</p> <p>つきましては、農地への太陽光発電パネルの設置を希望される場合は、設置可能かどうか必ず事前に農林振興部農政課若しくは農業委員会事務局にご相談下さいますようお願い致します。</p> <p>尚、市が自主的に市内農地に太陽光発電パネルを設置する考えはありませんので申し添えさせていただきます。</p> <p>【農地への太陽光発電パネルの設置に関するお問い合わせ】</p> <p>◆農林振興部農政課 ☎0854-40-1051</p> <p>◆農業委員会事務局 ☎0854-40-1092</p> <p><環境政策室></p> <p>2050年までの脱炭素社会構築という目標の中にあっては、太陽光発電の普及を含めた様々な手法の中から最も雲南市に適した効果的な方法が何かを判断し、実施して参ります。なお、現在、雲南市で実施している太陽光発電に関する補助事業は以下のとおりです。</p> <p>※太陽光発電設備設置経費の一部を補助金として交付しています。</p> <p>①住宅用【44千円/kw（パナソニックソーラーシステム製造(株)外は27千円/kw）】いずれも上限4kw】</p> <p>②事業用【単価は①と同様。上限9.99kw】</p> <p>③新規の太陽光発電システムと系統連系する蓄電設備に交付する。</p> <p>【蓄電池を太陽光発電システムと同時設置の場合：1件100千円】</p> <p style="text-align: right;">（回答部署：農林振興部農政課、市民環境部環境政策室）</p>